

# アブラハム

**創世記12:1** 堂はアブラムに仰せられた。「あなたは、あなたの生まれ競嫌、あなたの焚の蒙を出て、わたしが崇す地へ行きなさい。

ヤコブと エサウの かけいの はじまりは アブラハムです。 かみさまは ひとりの ひと ひとつの かていを めされた のですが それが アブラハムだったのです。

このよは わるいことが いっぱいでした。 かみさまを はなれた このよは かみさまを しんじませんでした。 かみさまが しゅじんと なるのではなく じぶんが しゅじんでした。 かみさまと ともにいて れいはいを することより せいこうが さいこうだと かんしんを もっていました。

そこで かみさまは アブラハムを よんで でてきなさいと いわれたのでした。

きょうのいのり

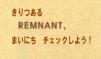
かみさま!

アブラハムのように わたしを よんでくださって ありがとうございます。 わたしの しゅじんに なってください。 イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン おなじいみ ちがうことば



#### つぎの ことばを よんで なぞって かきましょう













きょうのみことば

## アブラハムの けつだん

創世記13:18 そこで、アブラムは天幕を移して、ヘブロンにあるマムレの樫の木のそばに来て住んだ。そして、そこに主のための祭壇を築いた。

かみさまは アブラハムに けいやくを なしとげる とちとしそんを やくそくして くださいました。

しかし アブラハムは かみさまの みことばを しんじませんでした。

それゆえ なんどか しっぱいを して くるしい めに あうように なりました。

そのあとに アブラハムは すべての ことを おろして かみさまの まえに れいはいを ささげました。 かみさまは アブラハムに やくそくされた おおきな しゅくふくを くださいました。

きょうのいのり かみさま!

かみさまに れいはいを ささげることが できる しゅくふくを くださって ありがとうございます。 イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

かみさまに れいはいを ささげる アブラハムです。 えを さがそう ちがうところを 5つ みつけましょう ていてくいのり とくしょ あんしょう うんどう ころんどう きりつある REMNANT, まいにち チェックしよう!

よくできました

# かみさまの やくそく

きょうのみことば ちょうひょうび

創世記15:4~5 すると、室のことばが微に臨み、こう荷せられた。「その 者があなたの跡を継いではならない。ただ、あなた自身から生まれ出て来る 者がようび 者が、あなたの跡を継がなければならない。」そして、彼を外に連れ出して荷せられた。「さあ、突を見上げなさい。 量を籔えることができるなら、それを 変えなさい。」 さらに荷せられた。「あなたの字孫はこのようになる。」

アブラハムは おおきな しゅくふくを うけましたが むすこは うまれませんでした。

アブラハムは としを とってきたのですが じぶんの あとを つぐ むすこが ないので なやむように なりました。

しかし かみさまは アブラハムに けいやくを なしとげる しそんを くださると やくそくして くださいました。

また その しそんを とおして おおいなる みんぞくを なしとげると いわれました。

きょうのいのり

かみさま!

アブラハムのように わたしに せかいを いかす けいやくを くださって ありがとうございます。 イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン せいしょの みことば (よもう)

おおきな こえで なんどか よもう



オバデヤ1:17の みことば

しかし、シオンの やまには、
のがれた ものが いるようになり、
そこは せいちと なる。
ヤコブの いえは
その りょうちを しょゆうする。

オバデヤ 1:17 の みことば

きりつある

REMNANT, まいにち チェックしよう!









# きょうのみことば

# アブラハムの ふしんこう

創世記17:19 すると禅は仰せられた。「いや、あなたの妻サラが、あなたに第の字を産むのだ。あなたはその字をイサクと名づけなさい。わたしは彼とわたしの契約を立て、それを彼の後の字孫のために永遠の契約とする。

アブラハムは むすこが うまれないので あせりました。 かみさまの みことばを しんじないで じぶんの ちからで むすこを もとうとしました。

そして おんなどれいの ハガルを とおして イシュマエルが うまれました。

しかし かみさまは つまの サラが うむ イサクを とおして けいやくを たてると もういちど いわれました。

けっきょく イシュマエルは アブラハムを はなれるように なりました。

そして イシュマエルの しそんは いまでも けいやくを はなれています。

きょうのいのり かみさま!

かみさま:
わたしの かんがえより かみさまの みことばを こころに こめるように させてください。
イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

みちさがし

アブラハムが ふしんこうに ならないで かみさまの みことばに したがっていくように みちを みつけてあげましょう。





きりつある
REMNANT,
まいにち、チェックしよう!









# きょうのみことば

# アブラハムの しんこう

**創世記15:6** がれてしゅっしん こうはそれを彼の義と認められた。

アブラハムと サラは こどもを うむには としを とりすぎていました。 それでも かみさまの しゅけんと ちからを しんじて まっていました。

かみさまは アブラハムに やくそくされた とおりに けいやくを なしとげる しそん イサクを くださいました。 イサクは アブラハムが 100さいのときに うまれた とうとい むすこで おおきな よろこびに なりました。 わたしたちにも くるしいことが くることが あります。 そのとき アブラハムのように かみさまの みことばを しんじれば しょうりするように なります。

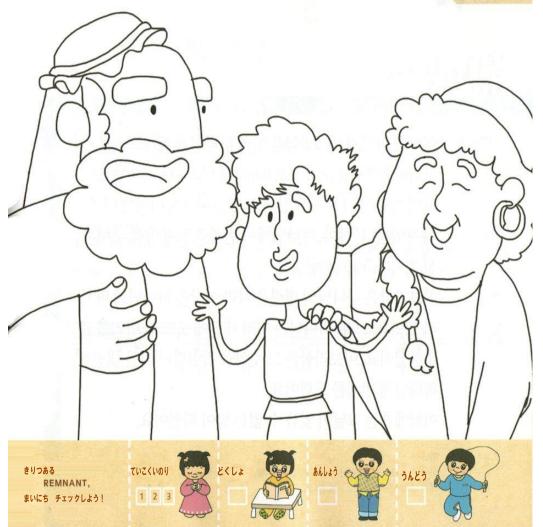
かみさま!

きょうのいのり アブラハムのように かみさまの みことばを かたく にぎることが できますように。 イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

#### アブラハムの かぞくに きれいな いろを ぬろう

えを かこう







## イサクの たいけん

**創世記22:13** アブラハムが首を上げて見ると、見よ、角をやぶにひっかけている一頭の雄羊がいた。アブラハムは行って、その雄羊を取り、それを首分の子の代わりに、全焼のいけにえとしてささげた。

イサクは おとうさんの アブラハムに つれられて かみさまに れいはいを ささげようと モリヤのやまに いきました。しかし ほかのひ とは ちがって ぜんしょうのいけにえとして ささげる こひつじが みえませんでした。ふしぎに おもって アブラハムに たずねたら「イサク。かみさまが ぜんしょうの いけにえとして ささげる ひつじを そなえて くださるのだ」と いわれました。

アブラハムは かみさまの めいれいに したがって イサクを かみさまに ささげようと しました。そのとき かみさまは イサクの かわりに おひつじを いっとう そなえておいて くださいました。アブラハムは その おひつじを つかまえて むすこの かわりに かみさまに ぜんしょうの いけにえを ささげました。

イサクには そのひは わすれることが できない ひに なりました。

きょうのいのり

かみさま!
イサクの かわりに ささげられた おひつじのように わたしを すくう
ために こられた イエスさまを あいします。
イエス・キリストの おなまえによって おいのりします。アーメン

さんび

### 「すくいの みち」の なかにある せいくを うたで おぼえましょう



### ピリピ 3:20







